

作成日：令和2年3月18日

作成：教頭 中村 壽男

◎ 新型コロナウイルス感染症対策のため、令和元年3月6日（金）に予定していた会議を取り止め、開催方法を以下の①～④に変更する。

- ① 委員の方々に会議資料を送付（令和2年3月9日）
- ② 各項目についての意見を聴取（意見書の返送による）
- ③ 意見を取りまとめ議事録を作成（令和2年3月18日）
- ④ 委員による議事録を確認（令和2年3月18日に議事録を送付）

◆ 協議会委員 黒上 晴夫氏、 徳野 利幸氏、 小林 三洋氏、 小路 吉秀氏、
遠山 美和氏、 坂本 幸子氏

◆ 議 事

○「令和元年度（平成31年度）学校経営計画及び学校評価」の自己評価についての承認

- ・ 承認する 6票
 - ・ 承認しない 0票
- ⇒ 「承認」されました

○ 中期的目標の各項目についての意見・感想

1. 「わかる」授業づくり

- ・ アンケート結果から先生方の工夫、アクティブラーニングに向けた取り組みが、生徒に認知されているように思います。ご苦労様でした。
- ・ ICT機器を活用して、わかりやすい授業づくりに取り組まれていることがわかりました。
- ・ わかりやすい授業が成果を上げた。
- ・ 先生方は、日々生徒目線で授業に取り組み、結果的に生徒からわかりやすいという評価を得たのだと思われます。
- ・ プロジェクター等の活用が生徒にわかりやすい授業として伝わっているのが、アンケートの数字を見てわかる。大きな成果だと思う。
- ・ 肯定率の上昇は先生方の努力のおかげだと思います。ありがとうございます。しかし、否定的な回答も14.7%（17人）あります。その回答理由を知りたいです。

2. 一人ひとりを大切にする安全安心な学校づくり

- ・ 生徒アンケートからみても、安全安心な学校づくりが生徒に安心感を与えていることがわかりました。
- ・ 生徒一人一人に寄り添っていることが拝察できる。
- ・ 何事にも生徒に向き合い、親身になって受け答えをし、信頼し合っていると思う。
- ・ 全般的に生徒の数字が上がっているのが良い。
- ・ 生徒アンケートのQ12, Q13の「相談」というキーワードの項目で、否定率が他よりも少し高いのが気になります。

3. 多様な進路実現を支援

- ・ 多種多様な進路に対応した支援ができています。
- ・ 生徒の進路決定先を見れば努力の成果が理解できます。
- ・ 今年度も、生徒一人一人に適した指導を熱心に行ったことが、アンケート結果から伝わってくる。
- ・ 新しい奨学金制度の周知で進学の事例があったとの事、とても良かったです。

4. 最終年度の教育活動の質の向上

- ・ 生徒の満足度の高さは、教員間の相互理解のもとに成り立っていることがよくわかりました。
- ・ 一学年しかないにもかかわらず成果をあげている、教職員が頑張ってきたことが感じられる。
- ・ 授業以外で、遠足、文化祭、体育祭など色々あったと思うが、生徒が楽しく参加できる学校になったのは、先生方が生徒を理解し信頼関係が築かれたからではないでしょうか。
- ・ 少ない教員にもかかわらず、最終年度の学校教育を工夫して良い結果を出せたのだと思いました。
- ・ この過密スケジュールの中で超過勤務の減少はすごいことです。先生方一人一人の努力が伝わってきます。

○ その他（学校より連絡）

- ・ 送付した進路状況の資料について、
進路未決定者のうち1名の就職が3月16日に決定しました。
就職内定者 女子 ~~21~~名 → 22名
未定 女子 ~~19~~名 → 18名 になります。